



Exergy Power Systems

2023.02.14

株式会社日本政策投資銀行、三菱 UFJ 信託銀行株式会社及び三井住友信託銀行株式会社からの出資について

変動性再生可能エネルギー（太陽光発電・風力発電）の普及拡大に伴い、重要性が高まるデマンド・サイド・フレキシビリティ（DSF：需要側需給調整力）を提供する東京大学発スタートアップのエクセルギー・パワー・システムズ株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長 CEO：ムセル マイク、以下、「当社」）は、株式会社日本政策投資銀行、三菱 UFJ 信託銀行株式会社及び三井住友信託銀行株式会社を引受先とする第三者割当増資を実施しました。

日本と同じ島国であるアイルランドと英国においては、風力発電を中心とした変動性再生可能エネルギーが総電力需要量の年間平均 40%を超える状況であり、電力システムの周波数が不安定になり、電圧が短時間に変動する再エネ由来の電圧フリッカが頻発し、工場、ビル、大学、病院、データセンター等の電力需要家における施設運営に影響が出ています。

当社は、アイルランドと英国において、『独自技術の次世代パワー型蓄電池』と『瞬間的に MW 級の電力を出力・制御するデジタルコントローラー』を活用し、工場やビル等の大規模電力需要家に対するバックアップサービス（UPS サービス）と、送電会社に対するバックアップサービス（高速調整力サービス）を、デマンドレスポンス（需要家側のエネルギーリソースを操作することで、電力需要をコントロールする仕組み）等を通じてサービス提供しています。

アイルランドと英国においては、変動性再生可能エネルギーの更なる導入、バックアップ電源のカーボンニュートラル化が進んでおり、日本国内においてもカーボンニュートラルの流れを受け変動性再生可能エネルギー比率の上昇が見込まれる中、蓄電池を活用したバックアップサービスのニーズが更に高まっております。

アイルランドと英国における更なる当社サービスの導入・展開と共に、日本国内において 2024 年度か開始予定の需給調整市場での一次調整力への参入を目的に今回の資金調達を実施しました。

当社は、引き続き電力会社、金融機関等各分野を代表する事業会社と積極的に国際オープンイノベーションを進め、日本と欧州、英国の 2030 年に向けた『エネルギートランジション』、2050 年に向けた『カーボンニュートラル』に貢献して参ります。

以上